

平成23年度

事業報告書

財団法人

日本高等学校野球連盟

## I. 事業の状況

### 1. 高等学校野球の振興、指導および加盟団体に対する監督

(1) 年度内に全国理事会を4回、また毎月定例として常任理事会を開催（12月を除く）して案件の審議、決定を行いました。更に各種専門委員会を必要に応じて随時開催、諸問題の審議、検討を行い高等学校野球の健全な育成、発達に努めました。

また、年度内各都道府県高等学校野球連盟会長会議、同理事長会議をそれぞれ各1回開催し、加盟団体との連絡と諸問題の伝達、徹底を計りました。

(2) 高等学校野球の健全化促進のため、本年度も『大会参加者資格規定』を定め、各都道府県連盟に通達し、加盟校への指導を要請しました。

### 2. 高等学校野球の調査、研究

(1) 年度内に開催された第83回選抜高等学校野球大会ならびに第93回全国高等学校野球選手権大会に参加した出場校に、大会会期中の宿舍生活実態と参加経費、寄付金募集の状況と過不足金の処理方法などの内容についてアンケート調査しました。両大会運営委員会ならびに理事会においてこの集計を報告、今後の指導方法と対策を検討しました。

(2) 5月末現在を基準とした硬式、軟式両加盟校の部員数調査を今年も実施しました。集計結果は硬式が166,925人(1,563人減)、軟式が10,983人(31人減)で13年ぶりに減少した。また、加盟校数は硬式が昨年から25校減の4,090校、軟式が31校減の477校であった。

### 3. 高等学校野球大会の開催および協力

#### (1) 第83回選抜高等学校野球大会

毎日新聞社と共催で3月23日から4月3日までの12日間、阪神甲子園球場で開催、1月28日に開かれた選考委員会で選考された32校が参加し無事盛況のうちに終了、東海大学附属相模高等学校（神奈川）が11年ぶり2回目の優勝を果たしました。準優勝は九州国際大学附属高等学校（福岡）。

#### (2) 第93回全国高等学校野球選手権大会

朝日新聞社と共催で8月6日から20日までの15日間、阪神甲子園球場で49校が出場して開催。日本大学第三高等学校（沖縄）が10年ぶり2回目の優勝を果たしました。準優勝は光星学院高等学校（青森）。

#### (3) 第56回全国高等学校軟式野球選手権大会

全日本軟式野球連盟、朝日新聞社、毎日新聞社の後援を得て、8月25日から29日までの5日間、兵庫県の明石トーカロ球場と高砂市野球場で開催しました。参加校は全国16地区から各1校ずつ計16校。中京高等学校（東海・岐阜）が12年ぶり5回目の優勝を果たしました。準優勝は作新学院高等学校（北関東・栃木）。

#### (4) 第66回国民体育大会・高等学校野球競技

山口県で10月2日から5日までの4日間開催。硬式の部は、ユニーアールスタジアムで12校が参加。日本大学第三高等学校（東京）が初優勝を達成

しました。準優勝は習志野高等学校（千葉）。

軟式の部は、ビジコム柳井スタジアムで10校が参加。作新学院高等学校（栃木）が2年連続7回目の優勝を果たしました。準優勝は天理高等学校（奈良）。

(5) 春季地区大会

各都道府県高等学校野球連盟の協力により、北海道、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州の全国9地区で4月下旬から6月上旬にかけて開催しました。

(6) 秋季地区大会

各都道府県高等学校野球連盟の協力により、北海道、東北、関東、東京、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州の全国10地区で10月上旬から11月上旬にかけて開催、無事終了しました。

(7) 第42回明治神宮野球大会・高等学校の部

11月23日から27日までの5日間、明治神宮野球場で開催。高等学校の部は、東京都のほか9地区から各1校が参加し、光星学院高等学校（青森）が初優勝を達成しました。

〔海外派遣ならびに招待〕

次の通り年度内に海外招待ならびに国際大会を行い、野球を通じて国際親善の実を挙げました。

(1) 日米親善・アーバンユースアカデミー招待

6月17日から25日までの9日間、米国・ロサンゼルス郊外のコンプトンにあるアーバンユースアカデミーの選抜チーム（役員9人、選手18人）を招待、東京、大阪、兵庫で親善試合（4試合）を行った。結果は4敗。

(2) 日米親善・四国地区選抜チームハワイ派遣

8月11日から20日までの10日間、四国地区選抜チーム（役員10人、選手18人）を米国・ハワイ州に派遣。マウイ島およびオアフ島の高校チームと親善試合（4試合）を行った。結果は4勝。

(3) 第9回アジアAAA野球選手権大会

平成10年に大阪で開催した第3回大会以来、13年ぶりに日本開催。日程は8月28日から9月1日までの5日間。会場は神奈川県下の3球場。8カ国・地域が参加し、日本代表チームが優勝。日本代表チームの優勝は平成17年の第6回大会（韓国・仁川）以来3大会ぶり4回目。

◇最終順位

第1位 日本、第2位 韓国、第3位 チャイニーズタイペイ、  
第4位 フィリピン、第5位 スリランカ、第6位 タイ、  
第7位 香港、第8位 パキスタン

4. スポーツ医科学の調査、研究

(1) 年度内開かれた第83回選抜大会と第93回選手権大会に参加する投手全員を対象に、大会前に肩、肘の関節機能検査を実施、スポーツ障害の予防に努めました。検査結果の概要は次の通り。

	(83回選抜)	(93回選手権)
検査受診者数	100人	149人
	肩・肘	肩・肘
X線所見・肘（剥離骨折）	なし 12人	なし 28人
同　　・肘（遊離体）	なし なし	なし 3人
	肩・肘	肩・肘
医師の診断　軽度の炎症	5人 12人	11人 10人
中程度の炎症	2人 1人	なし 3人
重い炎症	なし なし	なし 1人

以上の結果、大会規定による投球禁止適用者はいなかった。

## 5. 一般アマチュアスポーツ団体との協力、提携

年度内に次の団体と協議、懇談会を開催、アマチュアスポーツの振興、発展に努めました。

### (1) 日本中学校体育連盟との協議

当連盟から平成23年度特待生制度の調査結果と今後の調査の予定内容について説明し、今後も中学校校長の推薦書が必須の条件である事への理解と協力をお願いした。さらに、今後も課題や問題点があれば協議していく旨を確認した。

### (2) アマチュア3団体連絡会

日本野球連盟、日本学生野球協会（全日本大学野球連盟）と当連盟で定期的に連絡会を開催。全日本アマチュア連盟関係の諸問題について話し合いをしました。

## 6. 高等学校野球の指導者、審判等の講習会開催

### (1) 審判講習会

第51回全国審判講習会を4月16、17日の両日開催。今回は東日本大震災の影響でプロ野球の開幕が遅れたため、阪神甲子園球場が使用できず、実技はタイガースデン、座学は兵庫県立総合体育館で実施。各都道府県から参加した受講者を対象にルール研修や実技指導を行いました。

また、北海道をはじめ9地区の地区別審判講習会に講師を派遣、地方審判の技術向上に努めました。

さらに、中学・少年野球育成事業の一環として、第13回目の少年野球合同審判講習会を2月4日、5日に開催、受講者60人を対象に審判技術の統一と向上を図った。

### (2) 新任理事長研修会

例年2月に開催していたが、都道府県連盟から開催時期変更の要望を受け、翌年度の5月に開催することとし、平成23年度に就任された5名の理事長には同月開催の研修会に参加してもらうこととした。

以　上